平成２８年９月２１日

報道機関各位

ヒューマンメディア財団

八幡西区長崎自治区における子ども･高齢者の地域見守り実証実験

公益財団法人九州ヒューマンメディア創造センター（北九州市の外郭団体、以下「ヒューマンメディア財団」）と株式会社Ｓｋｅｅｄ（本社：東京都目黒区）は、平成２８年９月２５日（日）に「スマホを使った子ども・高齢者見守りシステム」（以下「本システム」）の実証実験を八幡西区東折尾の長崎自治区において実施します。

本システムによる同様の実証実験は、平成２８年１月から小倉南区守恒校区で実施しており、今回はその横展開として、「**長崎自治区**」と介護事業者の「**株式会社いきいき**（八幡西区）」が共同開催する「平成２８年度行方不明者捜索模擬訓練」において、介護事業所を中心とした新たな実証環境による技術検証を行うものです。

本実証実験により、安全で安心できる住みやすいまちづくりを目指すとともに、この仕組みによる北九州発の新ビジネスの創出を目指します。

今回の取組みをより多くの方に知っていただくため、本事業の取材・報道にご協力いただきますようお願いいたします。

記

１　実証実験概要

（１）平成２８年度行方不明者捜索模擬訓練

日　時：平成２８年９月２５日（日）９時から

場　所：八幡西区東折尾　長崎自治区

本部：北九州市立則松市民センター（八幡西区則松二丁目９番１号）

（２）介護事業所における見守りシステム実証実験

場　所：いきいき倶楽部（八幡西区東折尾町１６－１０）

２　実証実験の内容

（１）行方不明者捜索模擬訓練

行方不明者役にタグ（発信機）を持ってもらい、スマートフォンやタブレットを活用して発見する場合と、タグを持たない場合について、発見までの時間や手順、発見のしやすさなどを検証する。

（２）介護事業所における見守りの仕組み実証

実際に介護施設に入居されている認知症を患った方にタグ（発信機）を持っていただき、高齢者や介護職員にとって有用な補助ツールになるかを検証する。

３　参加各者の役割分担

（１）ヒューマンメディア財団　　：開発事業者と実証フィールドの調整、実証実験の全体総括

（２）（株）Ｓｋｅｅｄ　　：実証実験における技術的な評価・検証

（３）長崎自治区、（株）いきいき　：実証フィールドの提供、実証実験への協力

４　問い合わせ

公益財団法人　九州ヒューマンメディア創造センター

総務企画部企画課　今林、藤井

TEL:093-663-2950　FAX:093-663-2955　　Mail:planning2@human-media.or.jp

参　考

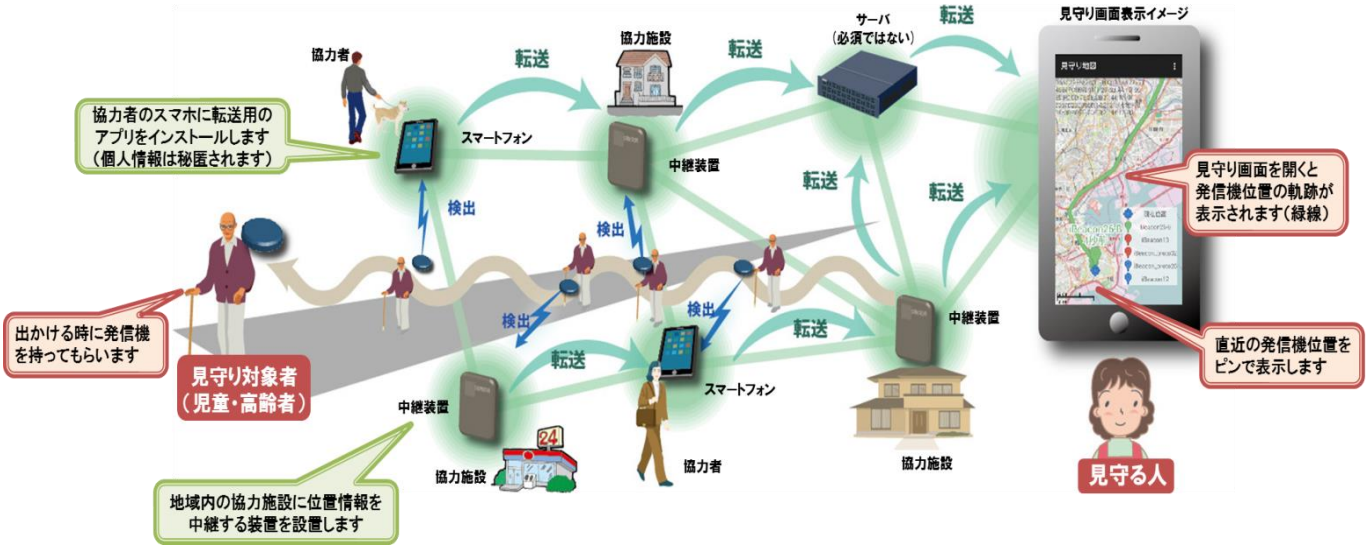
「スマホを使った子ども・高齢者見守りシステム」について

1　見守りシステムの概要

見守り対象者に、小さなタグ（発信機）を持ってもらい、見守る人は専用のスマートフォンのアプリケーションを使い、見守りたい人の場所を捜すことができます。

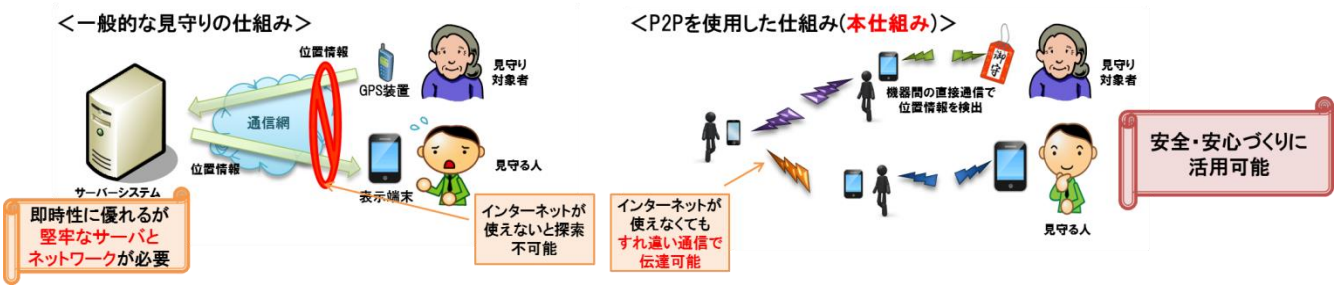
2　見守りシステムの仕組み

見守り対象者が持つ発信機の「位置情報」を近傍の協力者のスマートフォンや協力施設に設置されている中継器が自動的に見守る人まで転送します。



3　見守りシステムの特徴

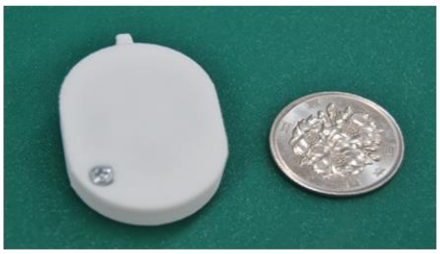
Ｐ２Ｐ(Peer to Peer：装置間の直接通信)を使用して、端末同士（中継器やスマホ）がバケツリレー方式でデータ転送できるため、インターネット環境が無くても、見守り対象者の位置情報を見守る人のスマホへ届けることが可能です。



4　使用機材

スマートフォン・アプリ

タグ（発信機）



中継器